

## 株式会社メディアパークつくば

[法人の概要]

平成17年7月1日現在

代表者名	代表取締役 植木章夫(常勤)	県所管部課	企画部新線・つくば調整課	
所在地	筑波郡伊奈町大字南太田1176	電話番号	0297-47-6000	
ホームページURL	無	E-mailアドレス	無	
資本金	20,000 千円	設立年月日	平成10年11月20日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額(減資後の出資割)	出資比率
	1	茨城県	3,215 千円	16.1 %
	2	松下電器産業株式会社	1,929 千円	9.6 %
	3	ソニー株式会社	1,929 千円	9.6 %
	4	伊奈町	1,286 千円	6.4 %
	5	株式会社常陽銀行	964 千円	4.8 %
その他	57 団体		10,675 千円	53.4 %
設立目的	県が推進する「メディアパークシティ整備構想」の事業主体として設立			

[事業の概要]

事業名	平成17年度事業費	内容
事業1 ワープステーション 江戸運営支援業務 (財団法人茨城県 開発公社からの受 託業務)	10,000 千円	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の管理運営業務に関する支援及び連絡調整業務</li> <li>ロケ業務に係る地元との連絡調整及び連携に関する業務</li> <li>ロケ及び施設の利用促進に係る営業活動に関する業務</li> <li>施設内でのロケに対する連絡調整及び支援並びにロケセットの設置調整等に関する業務</li> <li>ロケの誘致に関する業務</li> </ul>
事業2	千円	
事業3	千円	

[組織]

7月1日現在の人数	年度	平成15年		平成16年		平成17年		
		県派遣	県OB	県派遣	県OB	県派遣	県OB	
役員	常勤取締役	1	0	1	0	1	0	1
	非常勤取締役	3	0	3	0	3	0	0
	常勤監査役	1	0	1	0	0	0	0
	非常勤監査役	2	1	2	1	2	1	0
	計	7	1	7	1	6	1	1
職員	管理職	0	0	0	0	0	0	0
	一般職	0	0	0	0	0	0	0
	臨時職員	0	0	0	0	0	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0
当期常勤職員 の年齢構成	20代以下	0	0	0	0	0	平均年齢	平均勤続年数
	30代	0	0	0	0	0	歳 月	年 月

## [収支の状況]

株式会社メディアパークつくば

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
収 支 の 状 況	売上高	130,431	11,405	8,936
	売上原価	2,985	63	485
	売上総利益	127,446	11,342	8,451
	販売費及び一般管理費	280,054	10,221	7,688
	うち管理費	252,476	4,138	4,398
	うち人件費	27,578	6,083	3,290
	営業利益	-152,608	1,121	763
	営業外収益	98	356	977
	営業外費用	6,595	0	10
	経常利益	-159,105	1,477	1,730
	特別利益	625,210	26,239	0
	特別損失	2,305,180	26,592	0
	税引前当期純利益	-1,839,075	1,124	1,730
	法人税, 住民税, 事業税	950	950	950
	当期純利益	-1,840,025	174	780
	前期繰越金	-1,247,889	-3,087,914	-3,087,740
	当期未処分利益	-3,087,914	-3,087,740	-3,086,960
利益処分・損失補填額	0	0	-3,087,740	
次期繰越金	-3,087,914	-3,087,740	780	
財 産 の 状 況	資産	41,231	25,251	25,676
	流動資産	41,221	25,241	25,676
	固定資産	10	10	0
	繰延資産	0	0	0
	負債	19,146	2,991	2,636
	流動負債	19,146	2,991	2,636
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	0	0	0
	うち長期借入金	0	0	0
資本	22,085	22,260	23,040	

## [財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成14年度	平成15年度	平成16年度
財 的 関 与 状 況	補助金	0	0	0
	委託金	0	0	0
	貸付金			
	計	0	0	0
	財的関与の割合(%)	0%	0%	0%
損失補償・債務保証				

## [平成16年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	
委託金	
貸付金	

[評価総括]

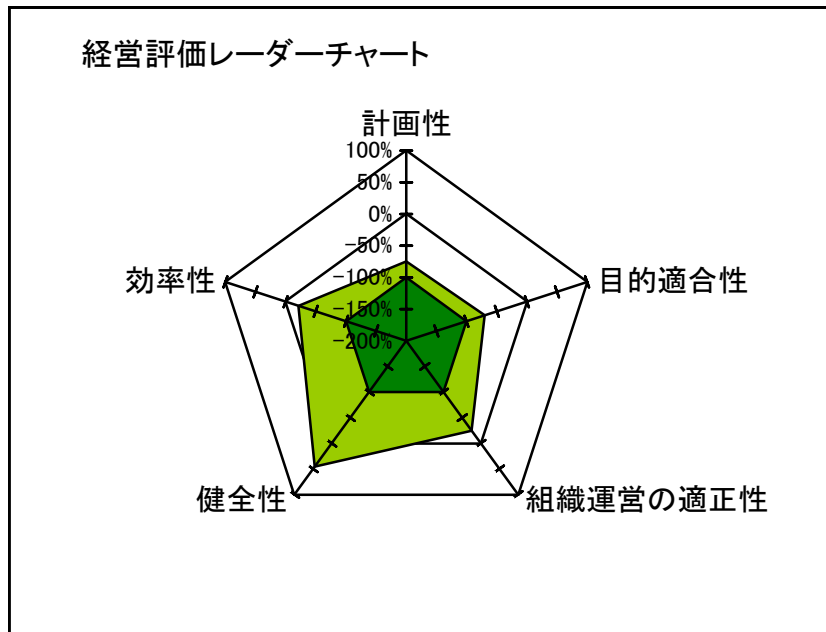
評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	-6	8	-75.0%
目的適合性	4	-7	10	-70.0%
組織運営の適正性	4	-2	8	-25.0%
健全性	11	18	40	45.0%
効率性	8	-6	28	-21.4%
合計	31	-3	94	-3.2%

企業会計用

株式会社メディアパークつくば

警戒指標

--



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
現在の業務が(財)茨城県開発公社からの受託業務のみであるため、業務計画等による具体的な数値目標が設定しにくい。	メディアパークシティ整備構想自体や会社のあり方等について検討する必要がある。	17年度からパート職員を2名雇ったが、組織としてはまだ機能していない部分もある。	今後新たな収益事業を確保する必要がある。	現体制では十分な成果をあげることは困難である。
今後の事業展開の方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当面は引き続き(財)茨城県開発公社からの受託事業を行っていく。</li> <li>・「メディアパークシティ整備構想」の段階的な推進を図るための、諸調整・諸検討を行っていくが、ワープステーション江戸はロケ施設へ転換していくことから、その状況をみながら、会社の存続や今後の事業のあり方等について検討することとなる。</li> </ul>			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
将来的な事業の進め方など検討する必要がある。	所期の会社設立の目的達成に向け、その役割を果たしていくとともに、会社の存続を含め、今後の事業のあり方について検討する必要がある。	代表取締役のほか、パート2名の現体制では、組織として機能していない。	今後新たな収益事業を確保する必要がある。	現体制では十分な成果をあげることは困難である。
	推進事項		取組み状況	
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>「ワープステーション江戸」については、平成14年度から16年度まで運營業務全般を民間施設の運営実績を有する大新東(株)に委託し、経費節減、誘客強化を図った。</li> <li>平成14年10月に当該施設を(財)茨城県開発公社に譲渡し安定的な運営基盤の確保に努めている。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>(財)茨城県開発公社から委託を受け、「ワープステーション江戸」運營業務に関する支援やロケ・施設の利用促進に係る営業活等を行った。</li> <li>昨年は実質的に減少した会社財産に資本の額を合わせ、実態に見合った組織とするため、資本の減資を行った。</li> </ul>	
法人担当課の意見	会社は今後も県・伊奈町及び茨城県開発公社と一体となって「メディアパークシティ整備構想」の段階的な推進を図るための諸調整・諸検討を行い、会社設立の目的実現に向けてその役割を果たしていくこととなるが、会社の存続や今後の事業のあり方等については、ワープステーション江戸はロケ施設へ転換していくことから、その状況をみながら、また株主と協議して行く必要がある。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>				
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>当社は、県が推進する「メディアパークシティ整備構想」の推進母体として平成10年11月に設立されたが、民事再生法適用後は経営体としての機能を有していない。現在、(財)茨城県開発公社からワープステーション江戸内のロケ撮影支援や誘客支援などを受託して業務を行っているが、組織体制が脆弱であり業務受託能力を有しているとは考えられない。このため、早急に他の株主とも協議し、法人の存廃について検討すべきである。</p>				
総合的所見等に係る対応	<p>当社はメディアパークシティ整備構想の事業主体として設立されたが、TX沿線開発の状況やワープステーション江戸がロケ施設に転換したことから、検討会議を設置し、同構想の見直しについて検討している。その結果を踏まえ、他の株主や関係自治体と協議のうえ、法人の存廃について検討していく。</p>				

＜株式会社メディアパークつくば から県民のみなさまへ＞

今後も引き続き「メディアパークシティ整備構想」を推進するための調整・検討を進めるとともに、当構想の先導施設として設置した「ワープステーション江戸」がロケ施設に転換したことから、その支援等を積極的に行いながら、地域振興に寄与してまいりたいと考えております。

平成18年2月 代表取締役社長 植木 章夫